

ふくおか@ふくし

Welfare of Fukuoka



今号の内容

- 特集 ふくおかライフレスキュー事業
- 地域ボランティア活動支援助成団体決定
- キラリ☆地域のふくしびと (Vol.9)
- 赤い羽根共同募金
- 各種貸付事業のご案内
- ふくふくInfo

p 1
p 5
p 6
p 7
p 9
p 10

ふくおかライフレスキュー事業
フォローアップ研修の様子 (関連記事 1 頁)

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の
配分金を受けて発行しています。

特集

地域における公益的取組を考える

社会福祉法人が取り組む地域貢献とふくおかライフレスキュー事業の現状

社会福祉法の改正と地域における公益的な取組

平成28年3月31日に公布された改正社会福祉法により、社会福祉法人は「公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する」とことが求められるようになりました。

これに伴い、平成28年4月1日から「地域における公益的な取組を実施する責務」が新たに設けられ、社会福祉法人は、既存制度や他の事業主体では困難な福祉ニーズに対応することが責務化されました。

これは、株式会社やNPO法人等の様々な事業主体が福祉サービス事業に参入する中で、同種のサービスを提供しながらも非課税である社会福祉法人には、その高い公益性と専門性を活かし、制度外のニーズに対してこれまで以上に積極的に取り組むことを求めたものです。

これまでも、各社会福祉法人では先駆的に様々な地域課題に取り組んできました。しかし、地域課題は時代や地域の実情に応じて複雑化・多様化してきており、高度な専門性を持つ社会福祉法人には「地域共生」

の担い手となる中心的役割が、これまで以上に求められています。

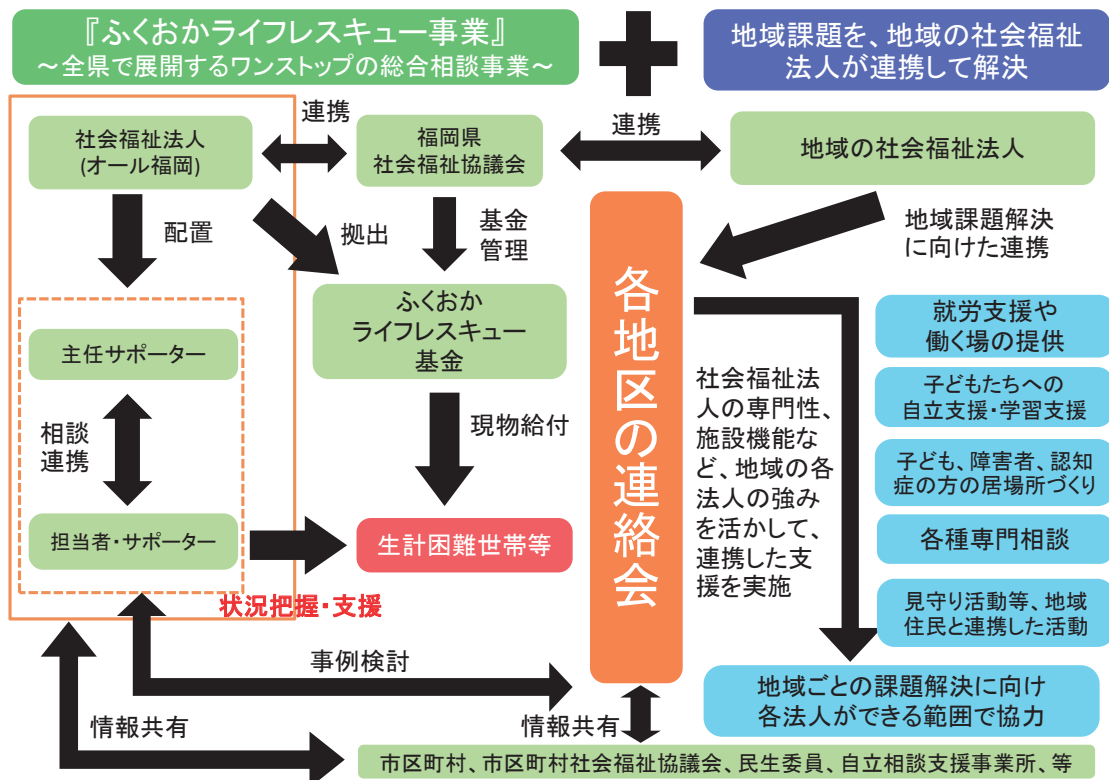
一方で、平成29年度の現況報告書から、地域における公益的な取組の内容を記載する欄が設けられましたが、「限られた人員の中で何をするように取り組めばいいのかわからない」との声も聞かれます。

ふくおかライフレスキュー事業概要

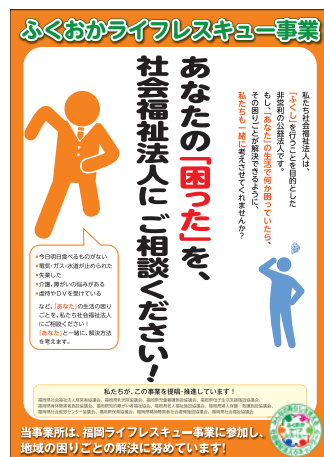
このような状況の中、福岡県では平成26年度から、福岡県社会福祉法人経営者協議会を中心に複数法人の連携による地域貢献活動について検討を進め、平成28年度に生計困難者等に対する相談支援事業である「ふくおかライフレスキュー事業」を糸島市、糟屋郡でモデル的に実施しました。

この実績を踏まえて、平成29年4月1日から12の社会福祉施設種別協議会等が提唱団体（うち県経営協、県社協が主管団体）として運営委員会を構成し、公的制度の狭間を埋めるきめ細やかなセーフティネットの構築に向けて、オール社会福祉法人による「ふくおかライフレスキュー事業」について、県内で順次取組を開始しています。

社会福祉法人の連携 イメージ図



本事業では、参加する各法人の施設等に担当者を配置し、社会福祉協議会や施設種別の枠を超えて、専門性を有する施設・社協の機能が連携することで、様々な支援を生計困難者等に提供し、自立に繋げることを目指しています。



左：ふくおかライフレスキュー事業のロゴマーク
中央：ステッカー／右：ポスター
各参加事業所に掲示しています。

さらに、各法人の高い専門性に加え、相談援助技術を修得するために3日間の養成研修修了者をサポーターとして認定しており、これまでに270名のサポーターを養成しました。

制度や行政による対応だけでは解決の糸口を見つけづらい、複合的かつ急迫した事案へ対応するには、即応性・専門性のあるサポート体制の構築が必要です。本事業では、サポーター等が自ら訪問し、状況の把握を積極的に行うアウトリーチ活動により、誰かが一歩踏み出さなければ発見することのできない課題を見つけ、参加法人が連携して解決につなげるとともに、関係機関や団体と協働し、伴走型の支援を行うこととしています。

本事業は総合相談事業ですが、緊急を要する場合は、食材や光熱水費等の現物給付も行っています。

また、より良い支援に向けて情報共有やケース検討を行うため、各地域で社会福祉法人のネットワーク（地区連絡会）を組織しています。社会福祉法人が地域に信頼され、必要とされるためには、地域課題に柔軟かつ積極的に取り組むことが重要です。地区連絡会を活かし、本事業だけに留まらず、地域ごとの様々な課題の共有・解決に取り組む柔軟な支援を目指しています。

事業種別の参加状況

事業種別	参加数
乳児	3
児童	6
母子	3
障害	93
老人	106
婦人保護	1
救護	12
保育	36
社協	36
合計	260

現在の参加状況など

運営委員会の会員事業所を中心に参加を呼び掛けており、164法人260事業所が本事業に参加しています。また、36市区町で社会福祉法人の連絡会が組織され、うち25市区町が本事業に取り組み、これまでに65件の支援が行われています。（平成29年12月末現在）
まだ県内の全市区町村で事業開始ができていない状況です。

ふくおかライフレスキュー事業は、複数法人が各地区で連携することで、各法人の状況に応じて「地域の公益的な取組」に無理なく取り組むことができます。各地区でのネットワークの構築により、県内全域での事業展開を目指し、法人の参加を呼び掛けています。

田川市社会福祉法人連絡会

田川市では、田川市社会福祉法人連絡会が平成29年9月に発足し、毎月連絡会を開催しています。現在、本事業に参加している3法

人（障害者支援施設2施設、社会福祉協議会）が正会員として、未参加の3法人（高齢者支援施設、障害者支援施設、保育所）と行政（子育て支援課、生活支援課、地域包括支援センター）が準会員として連絡会に参加しています。

これまでに、本事業を活用して2件の支援を行っており、支援事例の報告・検討等もこの連絡会で行っています。



参加者全員で支援事例の検討を行う連絡会の様子

連絡会会長を務める田川市社会福祉協議会の家高正憲事務局長に、連絡会の話を伺ったところ、「地域課題を解決するために社会福祉

法人の連絡会を立ち上げるのであれば、地域福祉推進の中核であり、地域課題と地域の社会資源をつなぐ役割を担っている社協が事務局を担うのは当然だと思います。

この事業では、今日食べるものが無い方からの相談がありますが、なぜそのような状況に陥ったのかまで掘り下げて支援を行っているため、大変奥深いと感じています。状況が刻一刻と変わるケースもあり、自立のゴールをどこに設定するのか難しい面もありますが、支援終了したケースでは、相談者の表情が生き生きと変わっており、社会福祉法人の使命を果たせる事業であると実感しています。

今後は、ふくおかライフレスキュー事業に限らず地域の様々な課題を寄せ合い、地域の社会福祉法人でできることを考えていく場としても活用していきます。」とお話しいただきました。



田川市社会福祉協議会
家高 正憲 事務局長

正会員として参加している、障害者支援施設月の輪苑の紅田 和成副施設長は、「普段の事業で関わる
ことが無いケースの支援に同行し



月の輪苑
紅田 和成 副施設長

た際に、いつもとは違う視点から携われしました。専門性が違う方と一緒に活動することで得られるものも多く、今後の支援にも活かせるのではないかと感じました。他種別の事業所との付き合いがこれまであまりなかったもので、これを良い機会と捉え、もつと多くの法人に参加していただけるよう、呼び掛けを行ってきたいと思っています。」と話されました。

準会員として参加している田川市生活支援課 木森 雄一 主任からは、「社会福祉法人のネットワークが広がることで、様々な可能性も広がり、行政も一緒に支援していくことが増えるのではないかと感じます。生活保護等の制度に該当しないケースだと、行政としての対応はどうしても限られてしまいましたが、専門性を持った社会福祉法人のネットワークと、ふくおかライフレスキュー



田川市生活支援課
木森 雄一 主任

「事業があれば、これまでとは違う対応ができるのではないかと期待しています。」と、連携への期待を語っていたいただきました。

実際の支援について

既に連絡会が立ち上がった地区では、本事業を活用して生活に困った方の支援に取り組んでいます。今回は、その中から、2つの地区の取組をご紹介します。

◆梅光園・中央区社協（中央区）

福岡市中央区では、社会福祉協議会のサポーター（3日間の養成研修修了者）と高齢者福祉施設梅光園の職員が連携して、心を閉ざしセルフネグレクト状態だった高齢者への支援を行いました。

中央区社会福祉協議会の伊藤 佳久さんは、当時の状況を次のように振り返ります。「行政から社協に、一人暮らしで身寄りもなく、他者との関わりが全くない80歳の女性について、『関係機関で見守り訪問や飲食料品の提供を行ってきたが、お盆の2日間は関係者が支援できず、対応に苦慮している。』と相談がありました。詳しい状況もわからない中、お盆前日の相談だったため、まずはご本人のお話を伺おうとご自宅を訪問しましたが、拒否感が強く、家には入れてもらえませんでした。そのため、専門家が支援する必要があると感じ、日頃から社協と関わり

が深く、地域カフェ等で施設を地域に開放している梅光園の沖宗施設長に相談しました。」

相談を受けた沖宗 良一 施設長は、「ふくおかライフレスキュー事業には以前から関心がありました。特にサポーター養成研修等は受講していませんでした。伊藤さんから連絡をいただき、緊急を要することと、日高 真美 相談員と一緒に事情をお伺いしました。私たちは施設を中心とした支援を行っており、ショートステイを目的とした訪問の経験はありましたが、介護事業を離れた部分での訪問・支援については、正直、我々で手助けができるのだろうかとの印象を持ちました。一方で、高齢者の方への支援だったため、私たちが行かずに誰が行くのか、という思いもありました。真夏の暑い時期で、誰かが訪問して支援しなければ生命の危険性もあると感じ、協力しようと決めました。

翌日、民生委員の方と日高相談員、私の3名で訪問しましたが、家はゴミで溢れており、本人はゴミの中にある布団に横たわっている状態でした。女性だったため、相談員がお話を傾聴し、私と民生委員さんとでトイレまでの導線を確保するため、ゴミの片づけを行いました。また、当日は施設の厨房で作った料理を持参することもできましたが、猛暑の中、すぐに食べない可能性もあ



左から中央区社会福祉協議会 伊藤 佳久さん、梅光園 日高 真美相談員、沖宗 良一施設長

とお話いただきました。

今回の支援を振り返り、伊藤さんは「この支援の後、ご本人の気持ちが大きく変化し、お盆明けには病院を受診され、大事に至る前に入院することができました。もし今回の支援が無ければ、危ない状況だったかもしれません。梅光園の職員さん達のご本人に寄り添う姿勢が気持ちの変化に繋がりました。急な対応を要するケースでしたが、普段から梅光園と社協との連携が取れていたことで、スムーズに支援に繋がったと感じます。」と話されました。

沖宗施設長からは、「施設は365日開いていますし、様々な専門職もいます。また、一緒に支援してくれる地区の社会福祉法人もあります。どんな状況でも、我々じゃなければ支援が難しいという方がいれば、今後も積極的に関わっていききたいと思っています。」とお話いただきました。

◆学正会（柳川市）

柳川市の学正会では、地域包括支援センターから受けた相談に対して法人内のサポーターが連携し、既に2件の支援を行っています。

実際に支援に携わった小規模多機能型施設デンナー甘露郷の田中茂施設長は、次のように語ります。「経済的な理由で困窮している高齢者への支援を2件行いました。ど

ちらのケースも、最初は食材を買うお金が無い等の一時的な経済的困窮の相談でしたが、支援を行う中で様々な課題が見つかり、現物給付による支援だけでなく、引越越し、行政や関係機関との調整、ゴミ出し等の支援を行いました。家族や友人がおらず社会的に孤立してしまい、年金等の必要な手続きができなかったために困窮していた方もおり、誰かが少し手助けできていれば、困窮に陥らなかつたのではないかと思います。介護保険事業ではサービス対価等も考えなければなりません。が、目の前の困っている人への支援を行えるというのは、本来の社会福祉の在り方を確認することができすし、やりがいも感じています。

柳川市では、社会福祉法人の連絡会がまだないので、法人内の別事業所サポーターと相談しながら支援を行っています。本人の自立を目標とする中、支援の際は本人がどこまでできるのか、どこまで支援すべきなのか、常に葛藤しながら対応しました。各社会福祉法人もこの事業の必要性は感じているでしょうし、制度では対応できない課題を抱えて



デンナー甘露郷 田中 茂 施設長

困っている方がいれば、できることであれば協力したいと思っています。ではないでしょうか。まずは、市内の他法人、行政や関係機関に参加いただき、地区で連携できる体制を整えていきたいです。」

おわりに

社会福祉法人には、公益性が強く求められています。「ふくおかライフレスキュー事業」は、地域における公益的な取組であり、生活に困っている方を支援できるツールとして、大きな可能性を有しています。一法人で取り組むよりも、様々な専門性を持った社会福祉法人が地域で連携することにより、人材や各種資源等の集積効果が発揮され、小規模法人であっても、無理なく取り組むことができます。

これまでも、社会福祉法人が制度外の支援に積極的に取り組んできた結果、制度化が図られ、住民福祉の向上につながってきた事が多々あります。社会福祉法人の本旨として、地域貢献にこれまで以上に積極的に取り組むことで、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに着実につながっていくものと期待しています。

【問い合わせ先】

施設課

☎ 092(584)3377

西部ガス株式会社・一般財団法人福岡県職員互助会・本会による 地域ボランティア活動支援のための助成事業 助成団体決定 ～県内27団体に総額763万円余を助成～

標記3団体は、住民参加型の地域活動を促進し、共に支え合い、共に生きる、安心とゆとりで満ちた、人に優しい社会づくりに資することを目的に、広く社会貢献の心をもって創造的にボランティア活動を実施している団体・グループ等に対して、1団体あたり30万円以内（3か年分）の助成を行っています。

今年度は、県内45団体からの申請に対し、各団体へのヒアリングと、外部有識者等で組織する助成事業審査委員会による厳正な審査の結果、下記27団体への助成を決定しました。

去る12月15日（金）、クローバープラザ（春日市）で開催した決定通知交付式では各団体に対し決定通知を交付しました。本助成が福岡県におけるボランティア活動の一層の振興・発展につながることを期待しています。



西部ガス株式会社 沼野 良成 総務広報部長（前列中央）、一般財団法人福岡県職員互助会 竹内 小百合 常務理事（前列左中央）、福岡県社会福祉協議会 高橋 敬 常務理事（前列右中央）

助成決定団体一覧

■西部ガス株式会社助成プログラム（5団体）

	団体名	市町村名
1	竹の子プレイスクールスポーツ少年団	北九州市
2	おもちゃ病院北九州	北九州市
3	NPO法人サンシャイン・ネットワーク	福岡市

	団体名	市町村名
4	室見川水系油山川河川を守る会	福岡市
5	テキスト訳グループ「あいフレンド」	福岡市

■一般財団法人福岡県職員互助会ボランティア助成プログラム（10団体）

	団体名	市町村名
1	影絵NAGAO	北九州市
2	笑楽ひょっとこ踊り同好会	北九州市
3	ICTサポート福岡	福岡市
4	バプテストコロニー友の会 久山療育園訪問ボランティア	福岡市
5	子育てオアシス	飯塚市

	団体名	市町村名
6	ここばなカフェ	柳川市
7	NPO法人 筑紫野市「障害」児・者問題を考える会	筑紫野市
8	特定非営利活動法人サークル・オーキッド	糸島市
9	演芸ボランティア 早川一座	宇美町
10	粕屋町ボランティア ぱーる会	粕屋町

■社会福祉法人福岡県社会福祉協議会助成プログラム（12団体）

	団体名	市町村名
1	福岡手話の会	福岡市
2	特定非営利活動法人 筥崎まちづくり放談会	福岡市
3	二胡ニコ体操	福岡市
4	お助け隊「えぶろん」	福岡市
5	大牟田フルス協会	大牟田市
6	大牟田区更生保護女性会	大牟田市
7	永岡いきいきサロン	筑紫野市

	団体名	市町村名
8	古賀市緑のまちづくりの会	古賀市
9	福津市子ども読書連絡協議会	福津市
10	こだまこども合唱団	宮若市
11	k o r i s u c l u b	篠栗町
12	香春ロマンガイド	香春町

【問い合わせ先】 共生社会推進課
☎092（584）3377

シリーズ

キラリ★地域の

ふくしびと

Vol.9

このコーナーでは、福岡県内で
ふくしの仕事に携わる人の声を
紹介していきます。

ふくしの仕事をはじめた
きっかけは？

祖父と母の姿を見て

実家で暮らしていた頃に、祖父が介護が必要な状態になりました。そのときの生活の変化や家族の様子、また介護サービスを利用することがぐっと身近に感じられた当時の経験をきっかけに、福祉の分野に興味を持ちました。

担当業務について

民生委員と福祉委員の連携

今年度は主に小地域福祉活動に携わっています。行政区の連絡調整、会議や研修会の開催など、そ

やりがいを教えてください

自分を頼ってもらえること

地域の方々との日々のコミュニケーションが楽しいです。社協全体で新宮町の課題に取り組みますが、基本になるのは人と人とのやりとりだと思うので、皆さんに顔と名前を覚えてもらって、名指しで頼ってもらえたときなどはとても嬉しいです。



福祉委員研修で話す足立さん（左上）

どんなふくしびとになりたい？

相手の考えを第一に！

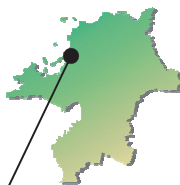
住民の方がいつでも気軽に相談できる相手でありたいです。相談を受けるとき、まずは相手の考えを「そのまま受け止めること」を大事にしています。これを完璧に実践できている自信はないのですが、常に相手がどう思っているのか、ということを第一に考えることを心がけています。

これからもひとつひとつの相談を真摯に受け止め、町の課題、社協の課題として取り組みたいと思っています。

上司からひとこと

足立さんの仕事ぶりについて、新宮町社協 三船 徹 事務局長からコメントをいただきました。「いつも笑顔で真面目に仕事に取り組む足立君の姿は、まさに新宮町社協の期待の星です!! 持ち前のこだわりの強さに加え、幅広く物事を捉えられるふくしびとを目指して、これからも頑張ってください。」

まずは相談を「受け止める」ことから！



●新宮町の概要

福岡市に隣接する町。玄界灘に面しており、港から 7.5km 先には相島がある。
人口：32,165 人、高齢化率：16.8%（平成 29 年 4 月 1 日現在）

足立 将之さん

●あだち まさゆき

事業所名：社会福祉法人 新宮町社会福祉協議会

担 当：小地域福祉、ボランティア 等

経験年数：5 年目

趣 味：ボウリング、ギター



新宮町社協キャラクター
“ココロちゃん”

手のぬくもりで笑顔と癒しを セラピューティック・ケア「えがお」

小 郡 市
配分事業



おかげさまで70周年

このロゴマークは、平成29年度に創設70周年となる赤い羽根共同募金運動をアピールするために作成されました。

赤い羽根共同募金は、地域のボランティア団体が行う様々な活動を支援しています。

今回は小郡市で活動されているセラピューティック・ケア「えがお」の活動を紹介します。

セラピューティック・ケア

オイルなどの薬剤や道具を使用せず、着衣の上から両手のぬくもりだけで行うシンプルなケア法です。一定の圧をかけながらやさしくなで、緊張やストレスの軽減、循環機能を高めリンパの流れを良くすることで導眠効果、痛みの緩和などの効果があります。また、相互の絆を深める作用があるとされるホルモンが分泌され、施術を受ける方・行う方双方に安らぎを与えます。

「えがお」の活動

平成16年に市社会福祉協議会のボランティア養成講座を受講した仲間が発足し、今年で14年、楽しく笑顔で活動が続けてこられました。団体の活動は、主に、高齢者施設



施設訪問によるケアの様子

や地域のサロン、小学校などへ訪問して行い、ケアを受ける方は毎月の訪問を楽しみにされています。現在、30名程度で活動を行っていますが、平日は活動できる人数が限られているため、隔年実施している養成講座で活動に参加できる新たな仲間を募集しています。

会員の声

「この活動の主な収入源は会費で、運営が厳しい状況の中、共同募金の配分は本当に助かっています。施術を受けられた方から感謝の言葉をいただきますが、私たちの方こ



セラピューティック・ケア「えがお」の皆さん

そ元気をもらっています。これでは、どちらがボランティアなのかかわからないですね。」と話していただきました。地域の高齢者から子どもまで多くの方々に、手のぬくもりで笑顔と癒しを与える活動に赤い羽根共同募金が活用されています。

歳末たすけあい運動街頭募金、皆様から温かい気持ちをいただきました！

福岡県共同募金会では、歳末たすけあい運動初日となる12月1日に西鉄福岡駅周辺で、募金ボランティア協力のもと街頭募金を実施し、県民の皆様から100,364円の貴重な浄財をいただきました。

お正月を自宅で迎えるひとり暮らしの高齢者におせち料理やお餅を届ける活動や、福祉施設で暮らす子どもたちの進学や就職のための支援金などに活用させていただきました。皆様の温かいご協力、ありがとうございました。



平成28年度
モデル指定事業
田川市支会
の取組

福岡県共同募金会では、共同募金の継続的な応援者を増やすための新たな取組などを推進する市区町村支会を募集し、活動費の一部を助成するモデル指定事業を平成24年度から実施しています。今回は、平成28年度にモデル指定した田川市支会の取組の一部を紹介します。

立ち上げに至った経緯

地域住民に楽しみながら共同募金に参加してもらいたいと思い、小物づくりの会員を募集し、平成28年6月に立ち上げました。はじめに本取組は共同募金運動を活性化し、田川市の福祉向上につなげるものであることを説明したうえで、月2回の小物づくりがスタートしました。

様々なイベントに参加

作成した小物を市社会福祉協議会主催のふくしまつりや支会の事務所があるスマイルプラザで販売し、売上を共同募金の寄付金としました。平成29年度は、市内で行われたイベント（公民館まつり、福岡県立大学秋興祭）に積極的に参加し、小物販売と共同募金のPRを行いました。

募金につながる「小物づくりの会」

支会担当者の声

毎回25名の会員さんが、趣味や特技をいかして楽しく活動に参加くださっています。共同募金の応援者を増やすという目的で始めた取組ですが、参加を通して会員同士の新たなつながりもできました。田川市の福祉向上と住民同士のつながりづくりにも役立つこの取組を今後も続けていきたいと思っています。

「赤い羽根キャッチフレーズ表彰式」で共同募金をPR

毎年県内の小・中・高等学校・特別支援学校に募集している赤い羽根キャッチフレーズ。今年度は38の学校から6,033点の応募をいただき、その中から最優秀作・優秀作が決定しました。

最優秀作は、昨年10月25日開催の福岡県社会福祉大会で表彰式を行い、優秀作・特別賞は、受賞された学校を訪問して表彰式を行っています。学校訪問の折には、全校集会や学年集会などで赤い羽根共同募金が身近で行われている様々な福祉活動を支える募金であることを伝える機会をいただきました。ありがとうございました。

特別賞 受賞学校（26校）

〈小学校〉

大牟田市立中友小学校
粕屋町立大川小学校

小郡市立三国小学校
筑前町立三輪小学校

朝倉市立朝倉東小学校
大刀洗町立大堰小学校

宇美町立原田小学校

〈中学校〉

折尾愛真中学校
福岡市立東住吉中学校
福岡市立片江中学校
古賀市立古賀中学校
朝倉市立甘木中学校
志免町立志免中学校

北九州市立折尾中学校
福岡市立宮竹中学校
大野城市立大野中学校
嘉麻市立山田中学校
糸島市立前原中学校
荏田町立新津中学校

〈高等学校〉

敬愛高等学校
福岡県立八幡中央高等学校
福岡県立八女工業高等学校
福岡県立福岡魁誠高等学校

福岡県立八幡高等学校
福岡県立福岡講倫館高等学校
福岡県立三井高等学校



朝倉東小学校のみなさん

福岡県社協は、みなさんの各種資格取得や就職を応援します！

～ひとり親家庭の方、保育士資格をお持ちの方向け貸付事業のご紹介～

本会では、資格取得や就職支援のための貸付事業を実施しています。
それぞれ条件を満たせば返還が免除されますので、ぜひご利用ください！

ひとり親家庭のみなさんの資格取得を応援！

福岡県ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

ひとり親家庭の親である方が、各種資格を取得するための資金を貸し付けます。

〈対象者〉

次の要件を全て満たす方

1. 福岡県内（政令市を除く）に住民登録のあるひとり親家庭の親であり、母子家庭高等職業訓練促進給付金及び父子家庭高等職業訓練給付金の支給を受ける方
2. 養成機関への入学または就職に際し、経済的援助を必要とする方
3. 養成機関修了後、福岡県内において、取得した資格が必要な業務に従事しようとする方

〈貸付額〉入学準備金50万円以内／就職準備金20万円以内

〈免除要件〉養成機関を修了し、かつ、資格取得後、資格に係る業務に5年間引き続き従事すること

〈申請方法〉必要書類を本会あて郵送ください。

申請様式は本会ホームページからダウンロードできます。

保育士資格をお持ちのみなさんの就職・勤務を応援！

福岡県保育士就職支援資金

保育業務に従事する方をサポートする資金として、下記4種類の貸付を実施しています。

1. 保育補助者雇上費貸付

〈対象者〉保育補助者の雇上げを行う施設・事業所（政令市を除く）

〈貸付額〉年額29万5千3百円（2人以上雇用する場合51万6千8百円）

〈免除要件〉保育補助者が貸付期間中または貸付終了後1年間の間に保育士資格を取得すること

〈申請方法〉必要書類を本会あて郵送ください。

2. 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付

〈対象者〉未就学児を持つ保育士で、政令市を除く県内の保育所等に新たに勤務または産後休暇・育児休暇から復帰する方

〈貸付額〉保育料の半額（月額2万7千円上限）勤務開始日から1年以内

〈免除要件〉2年間引き続き従事すること

〈申請方法〉必要書類を本会あて郵送ください。

3. 就職準備金貸付

〈対象者〉保育士登録または養成施設の卒業・保育士試験合格から1年以上経過した方のうち、保育所等での勤務経験なしまたは離職後1年以上経過しており、新たに政令市を除く県内の保育所等に勤務する方

〈貸付額〉40万円以内（1回限り）

※前年度の県内保育士の有効求人倍率が全国平均を下回る場合は20万円以内

〈免除要件〉2年間引き続き従事すること

〈申請方法〉必要書類を本会あて郵送ください。

4. 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付

〈対象者〉政令市を除く県内の保育所等に勤務する未就学児を持つ保育士で、保育所等を利用しながら子どもの預かり支援事業を利用する方

〈貸付額〉預かり支援事業利用料金の半額（年額12万3千円上限）2年分まで

〈免除要件〉2年間引き続き従事すること

〈申請方法〉必要書類を本会あて郵送ください。

※保育士就職支援資金の各申請様式は本会ホームページからダウンロードできます。

本会ではその他の貸付事業も実施しています。

各事業の詳細等は、本会ホームページをご覧ください。

ふくふくネット

検索

【問い合わせ先】総務課

☎092（584）3377

<http://www.fuku-shakyo.jp>

平成 29 年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー開催！

本会では、地域が抱える課題や地域のつながりづくりの大切さについて、地域住民、ボランティア活動者、専門職などの参加者が共に考え、住民主体の元気な地域づくりを進めることを目的に「みんなが主役の元気な地域づくりセミナー」を開催します。講演のほか、レクリエーションやパネルディスカッションを予定しておりますので是非ご参加ください。

日 時 平成30年2月21日（水）11:00～16:00

会 場 福岡国際会議場 2階 多目的ホール

参加費 無料

講 演 「子どもの居場所の先にあるもの」

～地域の身近な居場所づくりを通し、人がつながり支え合う地域づくりを考える～

九州大学大学院人間環境学研究院 専任講師

認定 NPO 法人 SOS 子どもの村 JAPAN 理事 田北 雅裕 氏

【問い合わせ先】地域課 ☎092（584）3377



福利厚生センター（Sowel CLUB）のご案内

福利厚生センター（Sowel CLUB）へ加入すると、下記をはじめとした様々なサービスが受けられます。この機会に、法人施設の福利厚生を充実しませんか？

★年会費1人あたり10,000円（月々833円）で満足できるサービスメニューが充実！

年間約 80 事業を会員価格でご案内

福岡県独自事業

平成29年度事業(例)	定価(円)	会員価格(円)
ソフトバンクホークス鷹の祭典	6,500	4, 500
DRAM TAO	7,700	6, 000
吉本新喜劇小藪座長公演	6,000	4, 500
福岡アンパンマンこどもミュージアム	1,500	1, 000
原鶴・筑後川・吉井温泉日帰り温泉＋昼食プラン（九州北部豪雨復興支企画） 通常価格5, 000円 → 会員価格2, 500円でご案内		
劇団四季や博多座の人気公演 約20～30%割引		
ケツメイシ、ゆず、久石譲、NUMBER SHOT、G-DRAGON、さだまさし、松田聖子等 各種コンサート 約20～30%割引など		

他に随時利用できる国内ツアー、提携ホテル、テーマパーク、レジャー施設などの会員割引等、全国200, 000以上の割引メニューがあります！

福利厚生センターは、社会福祉法に基づき、「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的に、厚生労働大臣から指定された全国で唯一の法人であり、会員ニーズに応じたさまざまなサービスを提供しています。

職員の健康管理に

・健康診断費用 1 人あたり最大	4,120 円助成
・各会員に健康生活用品	毎年 1 品贈呈

職員の慶事等のお祝いに

・結婚・出産・入学祝い	商品券贈呈
・永続勤続記念	記念品贈呈
・資格取得記念	記念品贈呈

職員の万一の際に

・会員死亡弔慰金	最高 180 万円給付
・配偶者死亡弔慰金	10 万円給付
・高度障害・後遺障害見舞金	最高 120 万円給付
・入院手術見舞金	1 日 1,000 円給付
・災害見舞金（法人・個人）	あり

職員の余暇活動に

・クラブ・サークル活動費用助成	1 人あたり 1,000 円
-----------------	----------------

加入の申込み・問い合わせ先

社会福祉法人 福利厚生センター ☎0120（292）711

または本会 人材・情報課 ☎092（584）3300

ソウェルクラブ

検索

ふくおか“きずな” フェスティバル

入場
無料

笑顔でつながる
地域のきずな!!

つながるー!
広がるー!
強くなるー!

開催日時

平成30年 2月18日(日)
9:40～15:30

開催場所

クローバープラザ

春日市原町3-1-7 JR春日駅すぐそば!

※御来場には公共の交通機関をご利用ください

開会式典

9:40～10:40

オープニング朗読 9:40～10:00

「おばあさんの新聞」 堅香子の会

開会式典 10:10～10:40

記念講演

10:40～12:00

演題

「幸せな社会づくりを考える」

～ヒトらしい心のはたらきからみえてくるもの～

講師：明和 政子 さん

京都大学大学院教授



NHKスペシャルに
出演されました

ボランティア活動別分科会 13:30～15:00

高齢者、障がい児者、子育て・子ども支援、
災害、環境の5分野について分科会を開催

要事前
申込

ステージイベント

12:00～15:30

子どもたちによる太鼓やダンスの
ステージイベントを開催

どなたでも
御参加できます

親子で楽しめるイベント 11:00～15:30

♥親子で楽しめる読み聞かせ、木工教室、バルーンアート
や布遊具で遊ぼう。

♥クローバープラザロビー1階が子ども
広場に変身。段ボール遊具で遊ぼう。

どなたでも
御参加できます

★福岡県まごころ製品販売フェア、食バザー 10:00～15:30
おいしいものがたくさん!

★スタンプラリー 11:00～15:30
全部あつめたらプレゼントがもらえるよ。



主催

社会福祉法人福岡県社会福祉協議会、ふくおかきずなフェスティバル実行委員会

後援

福岡県、春日市、福岡県教育委員会、公益財団法人福岡県人権啓発情報センター、公益財団法人福岡県女性財団、一般社団法人福岡県私立幼稚園振興協会、公益社団法人福岡県保育協会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県青少年団体連絡協議会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送、エフエム福岡、子づれDE CHA・CHA・CHAI、朝リトル・ママ (順不同)



お問い合わせ

社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会 共生社会推進課

〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6F

[TEL] (092) 584-3377 [FAX] (092) 584-3369 [E-mail] ikigai@fuku-shakyo.jp

○JR鹿児島本線春日駅から徒歩約1分 ○西鉄大牟田線春日原駅から徒歩約10分 ○西鉄バスJR春日駅バス停から徒歩約1分